

親和銀行への経営支援に係わる基本合意の概要

ふくおかフィナンシャルグループは、平成19年5月2日付「親和銀行に対する経営支援について」対外公表以降、九州親和ホールディングスおよび親和銀行との間で同行の経営統合を視野に入れた具体的な支援策の検討を進めてまいりました。

その結果、平成19年5月24日の取締役会において、関係当局の認可等を前提に、親和銀行をふくおかフィナンシャルグループの完全子会社とする経営統合を実施すること、同行の経営再建および資本支援等を実施することについて決議を行いました。

その後、平成19年7月3日に、九州親和ホールディングスおよび親和銀行と株式譲渡契約を締結し、九州親和ホールディングスの保有する親和銀行株式およびしんわディーシーカード株式の全部を総額760億円で取得することといたしました。(注)

● 経営支援の目的

- (1) 親和銀行のお取引先の保護および地域金融システムの安定化を確保する観点から、将来に渡る親和銀行の事業継続性を維持・向上させることを目指してまいります。
- (2) 親和銀行の真の再生を実現し、ふくおかフィナンシャルグループの力を結集して地域金融機関としての地位を揺るぎのないものとする事で、地域金融システムの安定化および地域経済の活性化を実現してまいります。

● 経営統合の形態

親和銀行をふくおかフィナンシャルグループの完全子会社といたします。

● 経営統合の方法

九州親和ホールディングスの保有する親和銀行の株式の全部およびしんわディーシーカード株式の株式の全部をふくおかフィナンシャルグループに譲渡することによって行われます。

● 経営統合の実行日

平成19年10月1日以降といたします。(経営陣・事務局からなる統合準備委員会を組織して準備を進めてまいります。)

● 株式譲渡価格

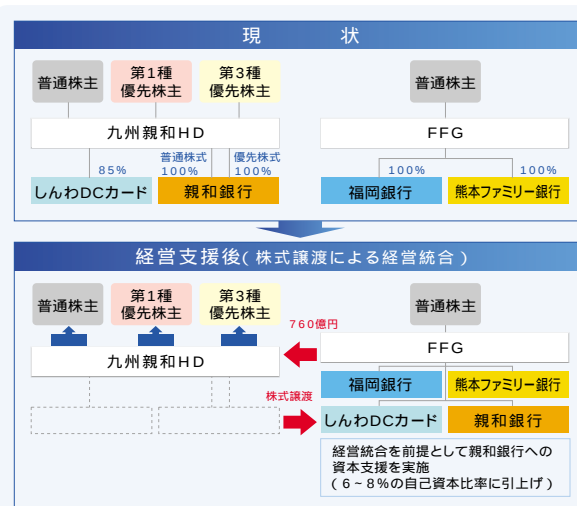
九州親和ホールディングスの保有する親和銀行株式およびしんわディーシーカード株式の全部を総額760億円(内訳は親和銀行759.14億円、しんわディーシーカード0.86億円)で取得することといたします。(注)

● スケジュール(いずれも現時点における予定です。)

平成19年9月7日まで	臨時株主総会(FFG・九州親和HD)
平成19年10月1日以降	本件経営統合

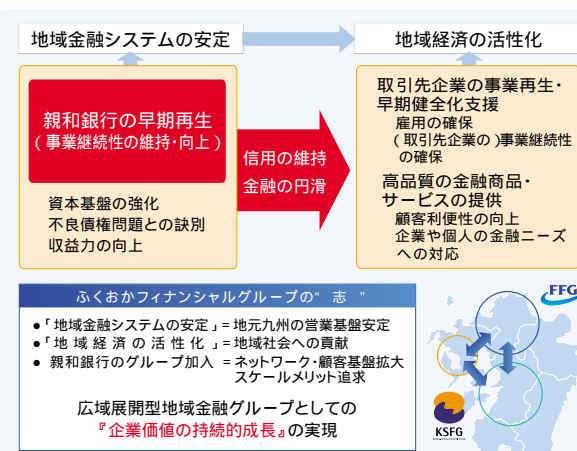
● 経営支援スキームの概要

- 九州親和ホールディングスが保有する親和銀行株式およびしんわディーシーカード株式の全部をふくおかフィナンシャルグループが760億円で譲り受けることにより、親和銀行を、ふくおかフィナンシャルグループの傘下銀行(完全子会社)として経営統合いたします。(注)
- 九州親和ホールディングスの株主総会における承認、および関係当局の認可を前提として、平成19年10月1日以降に早期経営統合を実現いたします。



【 経営統合の方法 】

九州親和HDが保有する親和銀行株式およびしんわDCカード株式の全部をFFGに譲渡
九州親和HDは株式譲渡の対価として、FFGより760億円を受領(注)
親和銀行はFFGの完全子会社(平成19年10月1日以降)
上記を前提に、九州親和HDは同社の臨時株主総会による株主様の承認を前提に解散
譲渡対価を主たる原資とする分配金を株主様へ交付



(注) しんわディーシーカード株式は、本件株式譲渡に先立ち、ふくおかフィナンシャルグループが取得する場合と同額の0.86億円で、親和銀行が九州親和ホールディングスから取得する場合がございます。この場合は、ふくおかフィナンシャルグループが九州親和ホールディングスから直接取得する株式は、親和銀行株式のみとなります。
なお、株式譲渡価格760億円の内訳は、親和銀行759.14億円、しんわディーシーカード0.86億円といたします。